

# 道徳教育の充実に向けて

R7. 10月 道徳教育研究協議会



群馬大学共同教育学部  
附属教育実践センター

久保 信行

# はじめに

○最近の道徳の流れ

○目指す道徳授業

○資料をもとに考えよう！

• 中学3年 ガイダンス「美咲の選択」

• 小学校5年 「大きな絵はがき」

# 最近の道徳教育の流れ

- 平成27年(2015年)3月 ・中教審答申で「道徳の特別教科化」  
・「**考え議論する道徳**」へ転換
- 平成29年(2017年) ・新学習指導要領で「特別の教科 道徳」を明記  
・**評価**は数値でなく記述式へ
- 平成30年(2018年) ・小学校で全面实施
- 平成31年(2019年) ・中学校で全面实施
- 令和元年(2019年) ・**ギガ・スクール**構想
- 令和2年(2020年) ・コロナ 緊急事態宣言 臨時一斉休校
- 令和3年(2021年) ・春 **タブレット配布完了**
- 令和7年(2025年) ・中教審 教育課程特別部会  
論点整理(素案)  
・**生成AIの活用**

## 群大シンポジウム

R 2 「考え、議論する道徳授業」

R 3 「道徳授業の評価」

R 4 「道徳のICT活用」

「主体的・対話的で深い学び」の実現を通じた

補足イメージ1-②

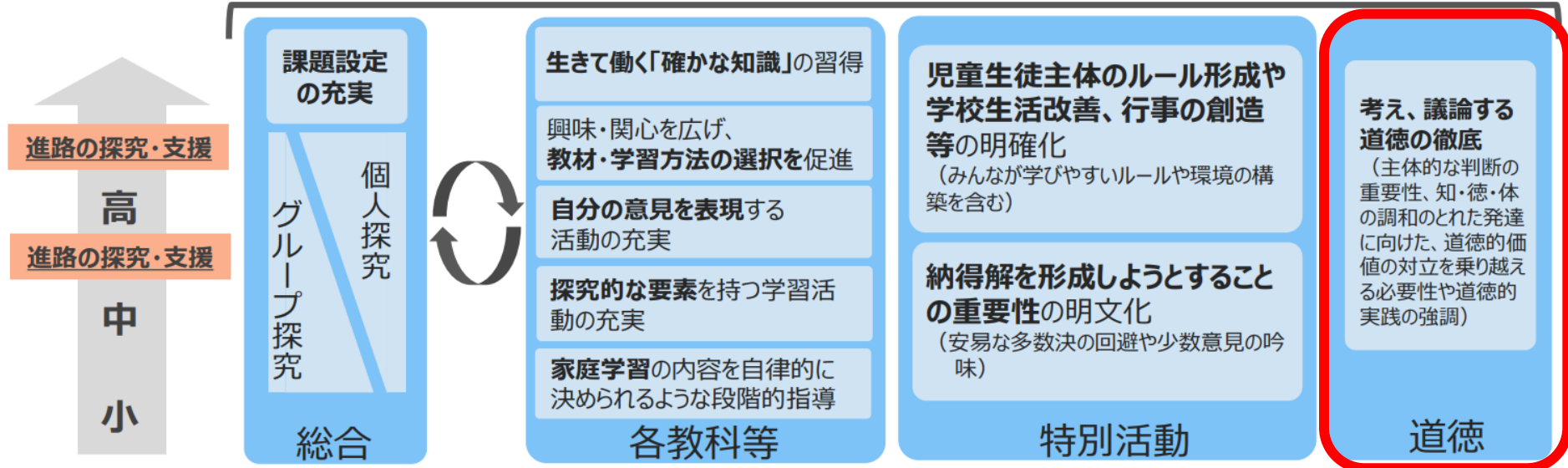
自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成 (今後の検討イメージ)

「好き」を育み、「得意」を伸ばす  
(興味・関心)



当事者意識を持って、自分の意見を  
形成し、対話と合意ができる

【各教科等での検討イメージ】



- 多様な子供を誰一人取り残さない視点としての個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実
- 科学的エビデンスに基づく効果的な授業方法 児童生徒の学習方略の指導
- 障害や認知特性等多様な実態を踏まえた調整 (教科等、家庭学習含む)
- 全ての活動の基盤としての心理的安全性の確保

学びをデザインする高度専門職としての教師

デジタル学習基盤

「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白

教育課程以外の勤務環境整備

# 最近の道徳教育の流れ

- 平成27年(2015年)3月 ・中教審答申で「道徳の特別教科化」
  - ・「**考え議論する道徳**」へ転換
- 平成29年(2017年) ・新学習指導要領で「特別の教科 道徳」を明記
  - ・**評価**は数値でなく記述式へ
- 平成30年(2018年) ・小学校で全面实施
- 平成31年(2019年) ・中学校で全面实施
- 令和元年(2019年) ・**ギガ・スクール**構想
- 令和2年(2020年) ・コロナ 緊急事態宣言 臨時一斉休校
- 令和3年(2021年) ・春 **タブレット配布完了**
- 令和7年(2025年) ・中教審 教育課程特別部会  
論点整理(素案)
  - ・**生成AIの活用**

## 群大シンポジウム

- R2 「考え、議論する道徳授業」
- R3 「道徳授業の評価」
- R4 「道徳のICT活用」

目指す方向に

子ども達は

育ってきているのか？

## ある大学生二年生の「道徳」についての振り返り から抜粋

今までの自分にとって、道徳というのは、最初は「守らなければいけないルール」というイメージが強かった。小さいころは、道徳の授業で習うことや、大人から言われることを守ってあげればよかったと思っていた。たとえば、友だちに優しくする、順番を守る、ごみを捨てない、そういったことは「やらないと怒られるから」という理由でしていた気がする。

しかし、小学校の高学年くらいから少しずつ考え方が変わってきた。友だちとけんかをしたり、部活で意見が合わなかったりしたときに、「自分が正しいと思っても、それを押し通すだけではうまくいかない」ということに気づいた。相手の気持ちや立場を考慮することで、初めてお互いに納得できることがあるとわかった。道徳は、人と仲良くやっていくために必要なものなんだと思うようになった。

中学生や高校生になると、さらに視野が広がった。ニュースや社会の出来事を見る中で、道徳は単に「マナー」や「ルール」だけの話じゃなく、もっと大きなものだと感じた。たとえば、環境問題や差別の問題、戦争や平和のことも、結局は人と人の関わり方や思いやりが関わっている。自分一人の行動は小さいかもしれないけれど、それが積み重なって社会をつくっているんだと考えるようになった。

振り返ってみると、昔は道徳を「誰かに教えられて守るもの」と思っていたけれど、今は「自分の中で考えて選ぶもの」という感覚が変わってきた。もちろん、法律や学校のきまりも大事だけど、それだけでは人の気持ちは動かないと思う。本当に大切なのは、自分で考えて納得して行動することだと思う。そのためには、相手を理解しようとする気持ちや、違う考えを受け入れる柔軟さ、そして自分の行動がどういう結果を生むかを考える責任感が必要だ。

これからも、道徳を「正解が一つだけあるもの」とは思わず、人や場面によって形を変えるものだと考えていきたい。でも、その中でも「人を大事にする」という根っこの部分だけは変えずに持ち続けたい。道徳は授業だけで学ぶものではなく、毎日の生活の中で少しずつ身につけていくものだと、これまでの経験から感じている。

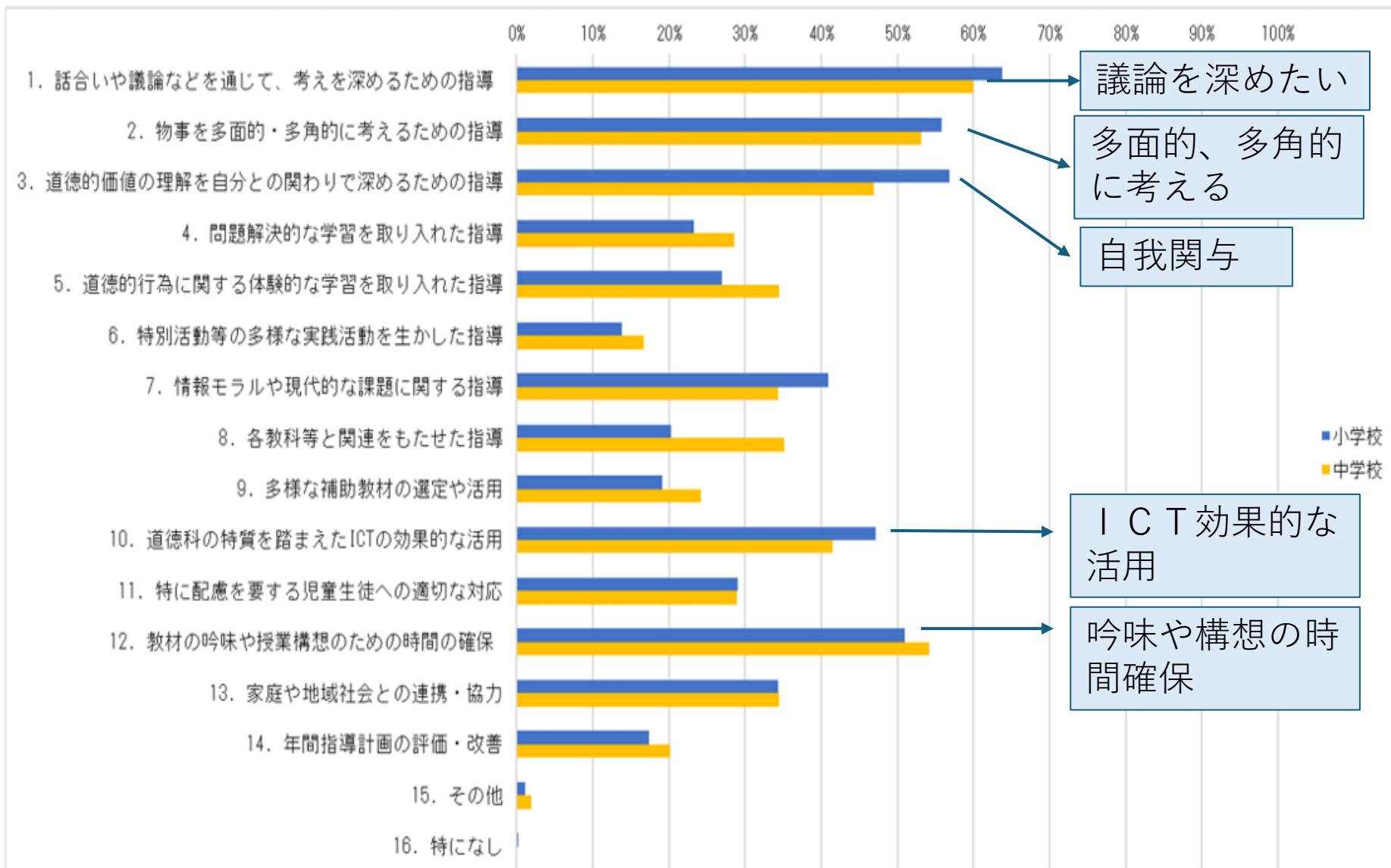
あなたの学校では、  
道徳の授業で  
どのような力を  
養っていますか？



子どもは  
道徳をどのような教科だと  
感じているのでしょうか。



【設問6】 道徳科の授業を実施する上での課題（複数回答可）



# 模擬授業の振り返り

子供の実態を捉える

教材分析をもとに焦点化する

道徳的諸価値の項目内容を明確に捉える

明確な指導観、一貫性ある指導観

明確なゴール設定  
ねらいの明確化

全体のタイムマネジメント

ぶれない問いかけ  
中心発問・補助発問

揺さぶる

的確な指示

教師がしゃべりすぎない  
子供の語らせる

課題意識をもたせる

自分事と考えさせる

本音を引き出させる

多様な考えを聞き合わせる

多様な考えを整理させる  
共通、差異

多様な考えをもとに自分の考  
えの深まりを実感させる

子供の力で納得解を導き出す  
自分の言葉でまとめさせる

様々な思考ツールを活用する  
ICTの活用

役割演技・  
動作化する

思考を可視化する

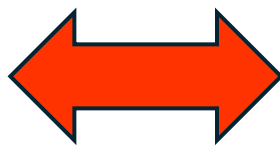
心情曲線で考え、  
思いの可視化

構造化された板書

整理された板書

安心感のある学級の雰囲気がある

教師主体の  
道徳授業をつくる



子ども主体の  
道徳授業をつくる

主役が教師 教師のルール

課題意識を持った教師  
課題意識を持たない子ども

言われて動く子ども  
指名されて発言する子ども

発表する子ども

...

主役が子ども

課題意識を持った子ども

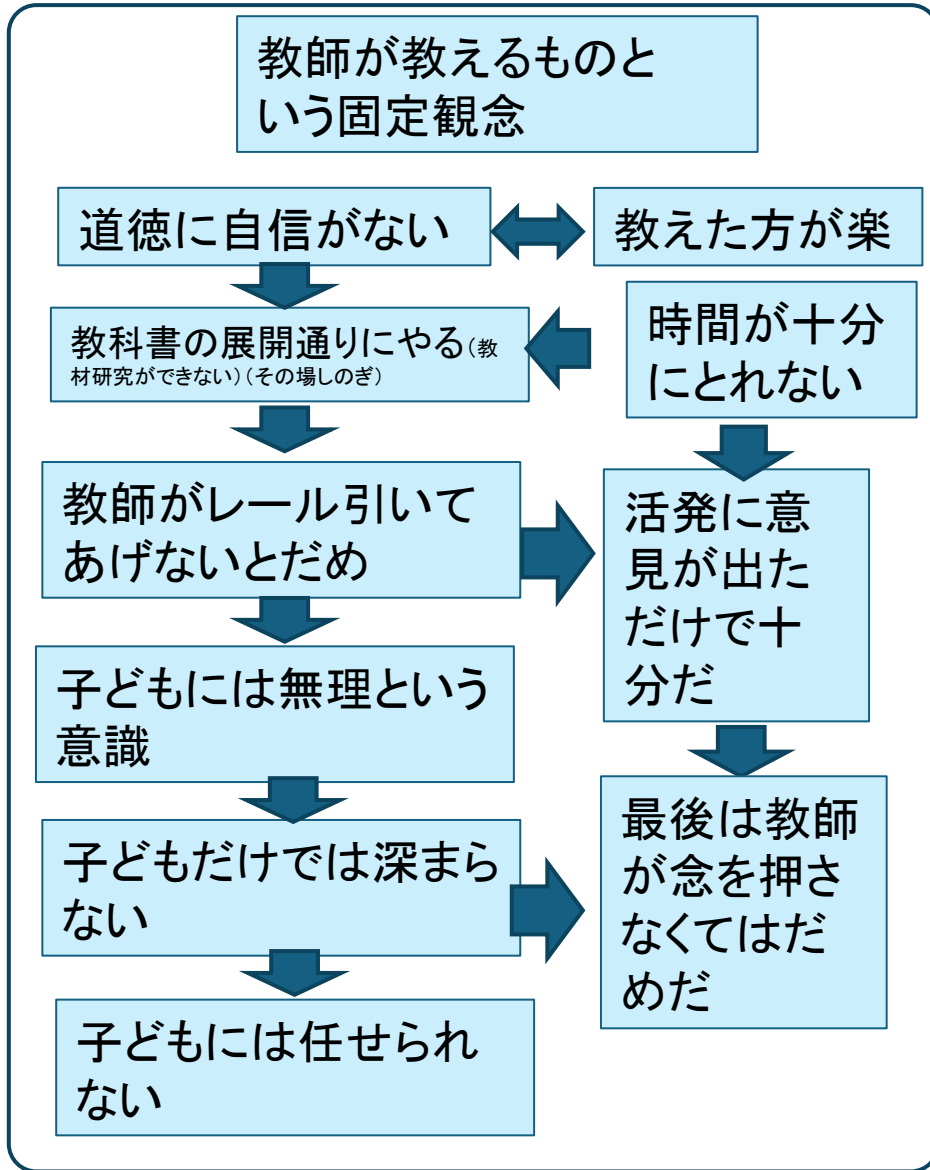
動く子ども

語り合いたい子ども

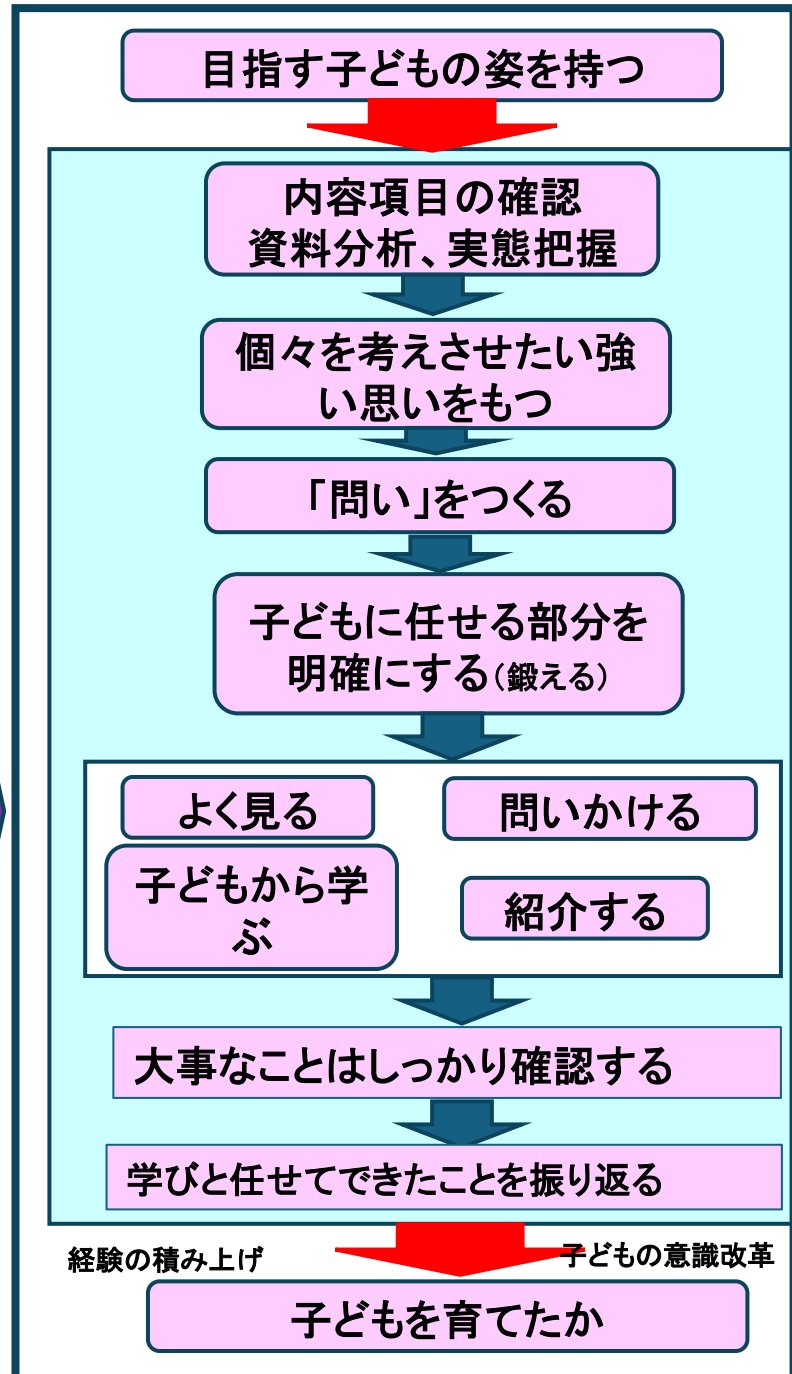
納得する子ども

...

# なぜ、「道徳」は教師主導の展開になってしまうのだろう？



意識改革



# 「問い」をつくる

教師の  
「問い」

教師と  
子ども達の考えを  
もとに「問い」

子どもがつくる  
「問い」

**教師主導**

**教師サポート**

# 子ども主体の問題解決的な道徳学習

道徳的諸価値に対する  
自分の見方・考え方、  
経験等の想起

教材との出会い

感想や疑問点、  
論点等の共有

「問い」の決定

「問い」の解決に向  
けての話し合い

交流・吟味

振り返り・まとめ

**本時で扱う道徳的諸価値に対しての意識化**

- ・ 経験（うまくいったこと、行かなかったこと）
- ・ そのときの感情

**自分なりに問いを持って資料読み**

**このことについて、自分はどう思い、  
何を考えているのかを意識化**

- ・ 驚き ・ 感動 ・ 疑問 ・ 不思議 ・ 葛藤 ・ 問題点
- ・ 強さ ・ 弱さ ・ 迷い ・ 納得 ・ 未来

**「問い」を整理して解決する「問い」を決める**

**「問い」解決するために、自分たちの「解」を磨  
き上げる** ・ 問題解決の手法の活用 ・ 形態 ・ i c t 機器

**それぞれの「解」に至った経緯や意味や価値を共  
有する。** ・ 他者説明 ・ コメント

**「問い」に対しての自分の「納得解」を決め、  
よりよい生き方について、考えを深める。**

# 朗読後、 課題の設定



06心づかいと思いやり

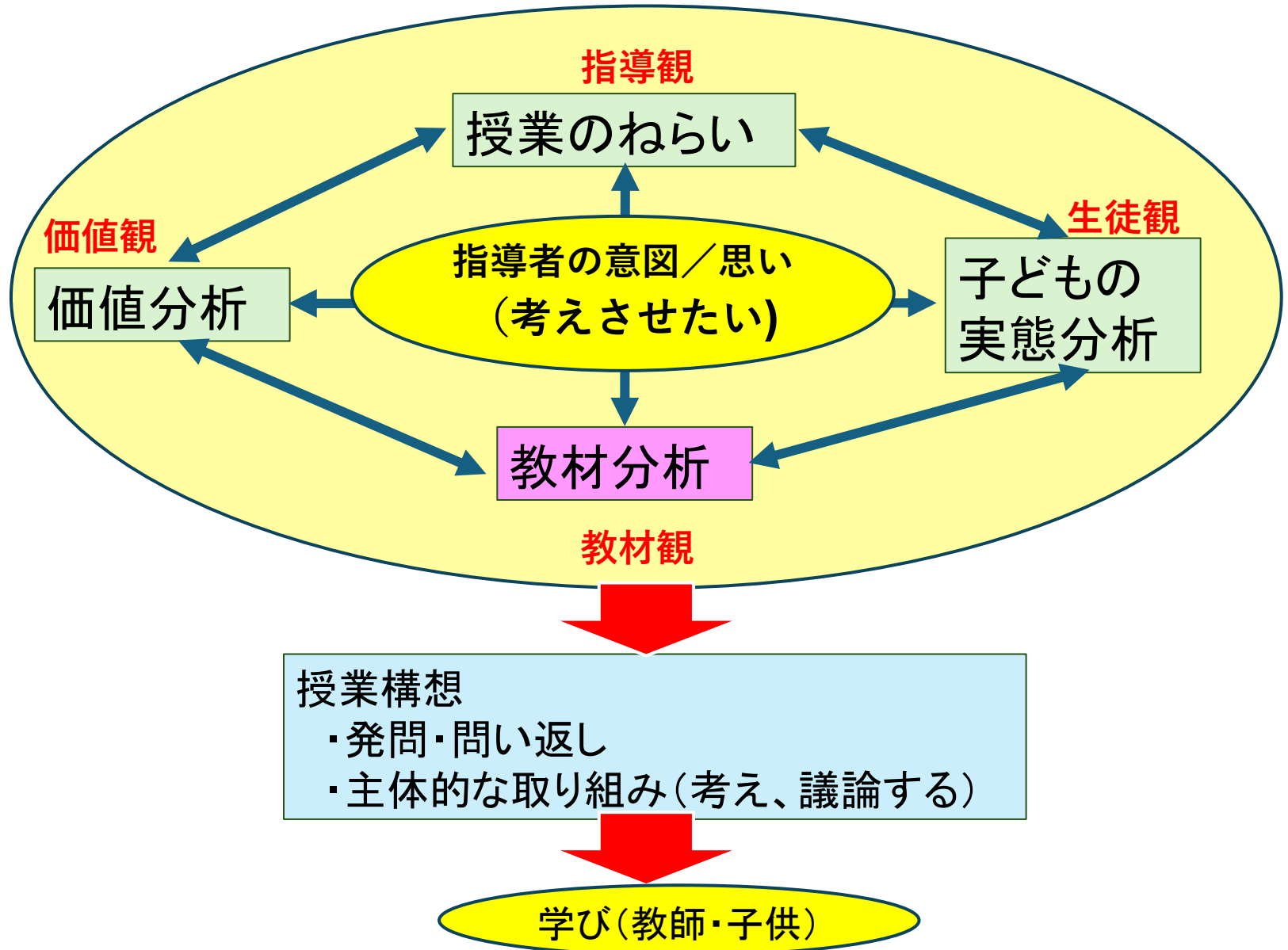
2/5

背景を設定 フレームを消去

## 学級で考えたい課題やテーマを考えよう。女性 周りの客 わたし

瑠生	唯	奏	風依	莉柗	陽夏莉	愛咲
なぜ女性は周りの人に声をかけたのか	なぜ周りのお客さんも女性のように他のお客さんを乗せようとしたのか	周りの客は女性が声をかけたことについてどう思っているのか なぜ女性は振り返って聞いたのか	なぜ「〇〇方面行きますけど、同じ方向の方おられないか？」と聞いたのか	一番に並んでた女性がタクシーが来たときに〇〇方面に行く人はいませんかといったのか	前の女性の行動を見てどんな気持ちになったか	どうして「〇〇方面に行く人いませんか」と聞いてきたのか
莉珠羽	晶	花香	明々香	葵	愛加	愛涼
なぜ周りの客は女性の行動に従ったのか	なぜ女性は、同じ方面に行く人に声をかけたのか	なぜ忙しい中で、他の人を気遣ったのか？	なぜ周りの客は女性と同じことをしたのか	なぜ後ろを向いて女性があんなに気配りしてそれを周りの人が女性の真似したか	なぜ周りの人たちに声をかけたのか？	なぜ、同じ方面の方に行く方がいいませんかと女性は声をかけられたのか
優宇	遊歩	華月	はる	妃城	颯太郎	鉄心
大切なことを学んだとあるが何を学んだのか	なぜ女性は周りに声掛けをしたのか	なんで女性と同じことをしたのか	なぜ女性は後ろにいた人たちに声をかけたのか	なぜ女性は周りの方に声をかけたのか	なぜ善行だったことが女性の一言で何か大切なことを学んだような気がしたのか	なぜ周りの人は一番最初の女性みたいに声をかけをしたのだろうか
あかね	結芽	奏	実情	碧	アドバイス ・なぜ～～か？ ・どうして～～か？ とすると課題ができます。	
なんで、〇〇方面に行きますか？と聞いたのはなぜ？	なぜ女性は周りの客に声をかけたのか	なぜ笑顔で同じ方面に行く人がいるか聞いて乗せていこうと思ったのか	なぜ女性は振り返って満面の笑みで声をかけたのか	なぜ周りの人は、その女性みたいに声をかけたのか		

# よりよい道徳授業をつくるために





## 「美咲の選択」

春香と美咲、あかりは幼なじみ。春香と美咲は同じ中学校に通っているが、あかりは父親の仕事の都合で、この春から県外の中学校へと転校してしまった。

春香「おはよう！」

ある日の朝、いつものように春香と美咲は二人並んで、会話をしながら登校していた。

春香「とうとうスマホ買ってもらっちゃった！それで早速、昨日の夜、スマホであかりに連絡を取ってみたの。」

美咲「あかり、元気そうだった？」

春香「それが……、あまり新しい学校になじめなくて、とてもさびしそうだったの。」

美咲「あかりは自分から話すのは苦手だからなあ。」

春香「だから、はるかを励ますために、私たちの写真を送ろうと思うの！」

美咲「いいね、送ろうよ。あかり絶対に喜ぶと思うよ！」

春香「じゃあ、決まりね！どうせなら2年の時の仲良しメンバーで、昼休みにとうとうと思って……。」

春香は鞆から何かを取り出した。見ると、右手には学校に持ってくるのが禁止されているスマホがにぎりしめられている。

美咲「えっ！今日の昼休み？」

春香「こういうのは早いほうがいいでしょ！スマホだどとった後、すぐに送れるし。あかりを励まさないか！」

美咲「……。」

どんな問いがありますか？

# 考えられる発問

未来を考える

状況を考える

これから、どうしたらよいのか

一体、何が問題なのか

自分が美咲ならどうしますか  
(行動選択)

美咲は何を悩んでいるのか

美咲と春香の考えの違いは何か

あなたは春香に何を言いますか  
(発言内容)

美咲は何も言えないのはどうしてか

その理由は？

# 美咲の葛藤の構造

## ① 【表層】 行動としての迷い（目に見えるレベル）

- 写真撮影に参加するか、断るかで迷っている春香に注意すべきか、見て見ぬふりをするか迷っている
- 自分も写った写真がルール違反になるかもしれないと不安
- 行動選択の葛藤「写真を撮ってあかりを喜ばせたいけど、ルール違反になるのはイヤだ」

## ② 【中層】 感情としての葛藤（心のレベル）

- 春香をがっかりさせたくない（友情・気まずさへの不安）
- あかりを励ましたい気持ちは本当（共感・思いやり）
- 校則違反に加担することへの罪悪感
- ルールを守らないことに違和感（正義感・モヤモヤ）
- 自分だけ断る勇気がない（孤立の不安）
- 気持ちの葛藤**  
「みんなを思っていることだけど、なんかスッキリしない」  
「このままでいいのかなって心がざわざわする」

## ③ 【深層】 価値観としての葛藤（道徳的なレベル）

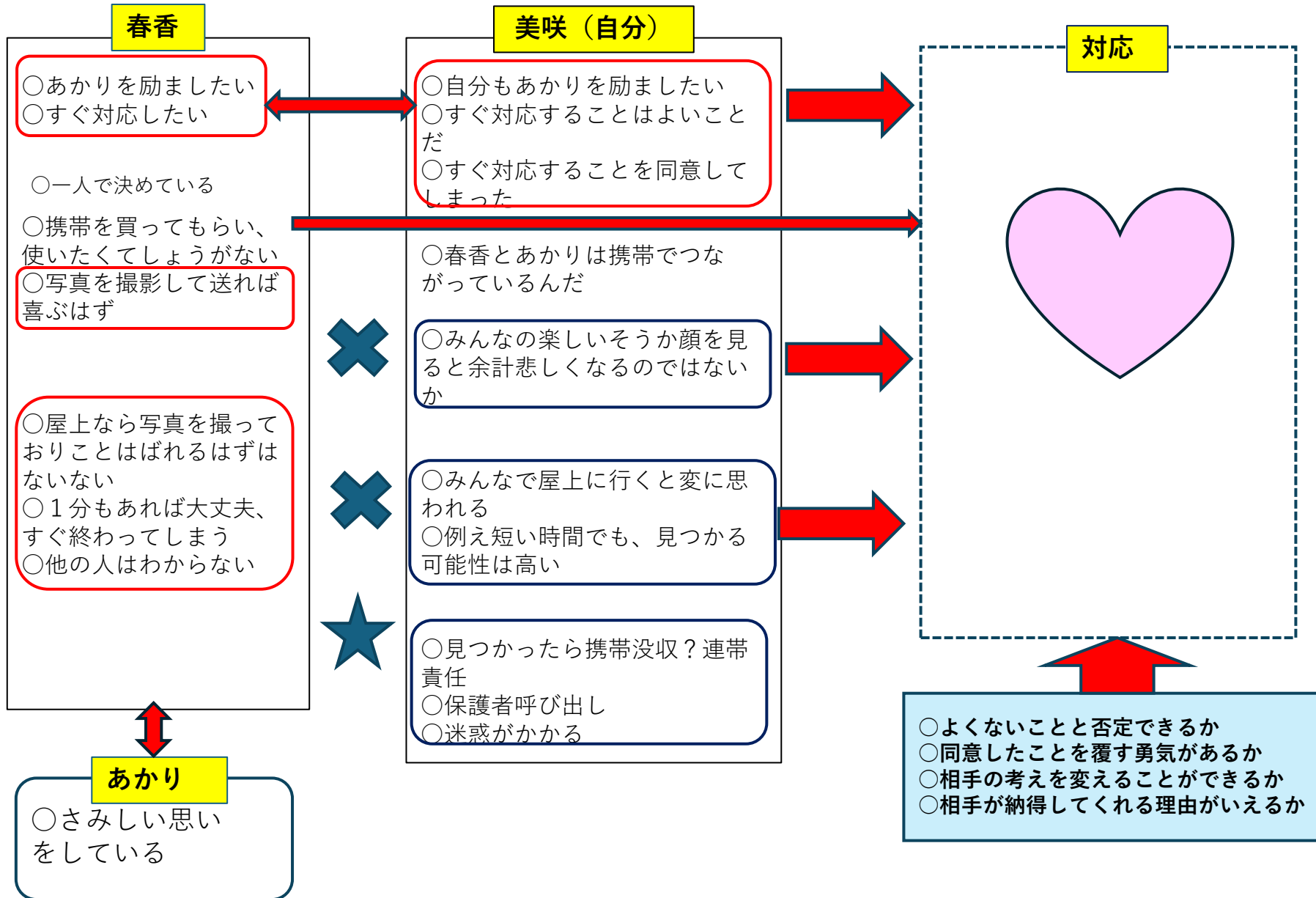
- 「友だちを思いやること」 vs 「社会のルールを守ること」
- 「よい目的のためなら多少のルール違反もよいのか」 vs 「ルールには理由があり、守るべき」
- 「自分の正しさを信じたい」 vs 「周囲に合わせた方が波風立たない」
- 道徳的価値の葛藤・よりよい生き方の葛藤**  
「正しいと思うことを言えないのは、自分らしくない」  
「勇気を出して伝えるべきか、それとも黙っていた方がよいのか」

あなたが美咲なら  
何と言いますか。  
それはどうしてで  
すか



よい答え、悪い答えを考えてください。

# よりよい対応は何か



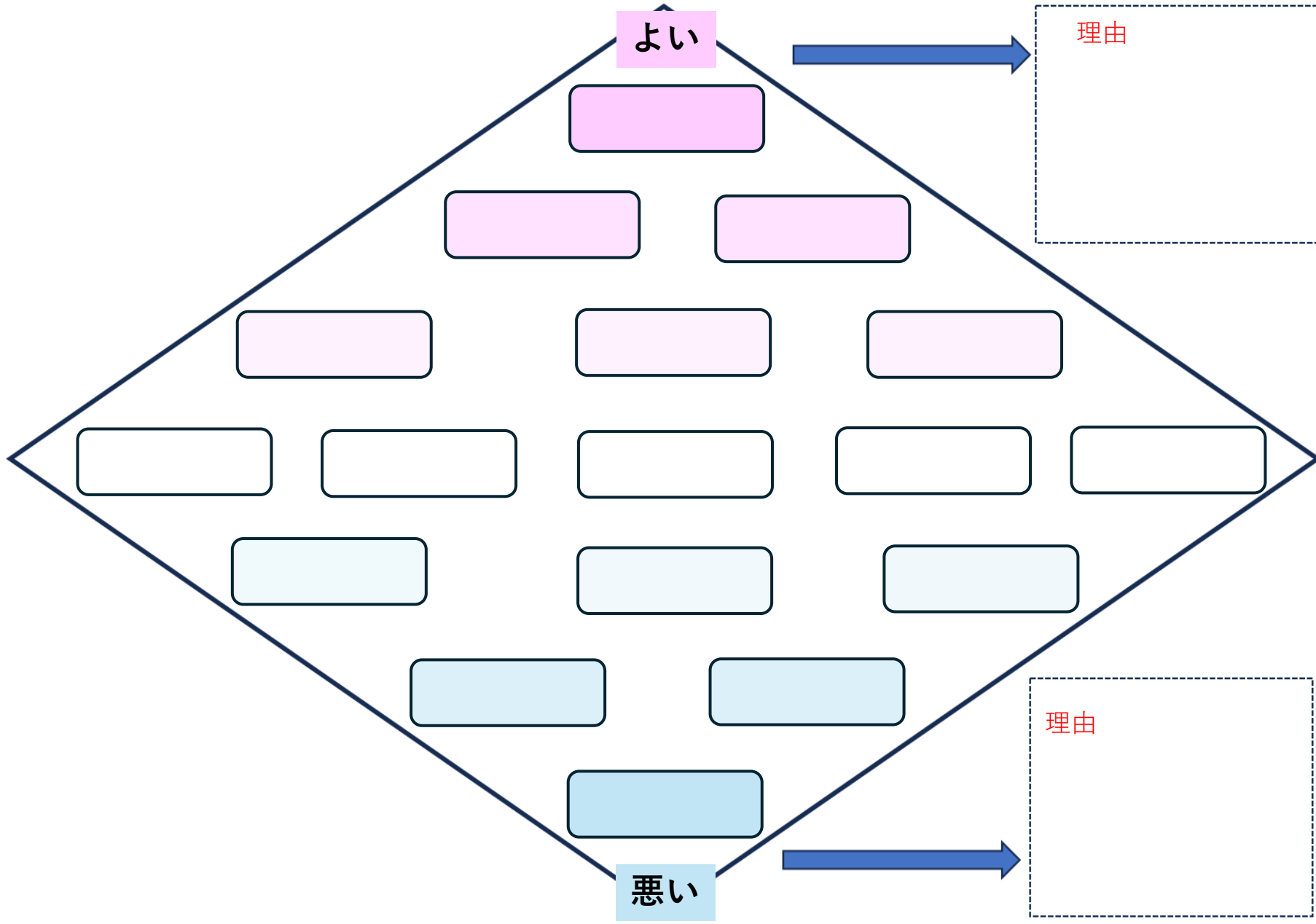
# 今後の行動のランキング

よい

理由

理由

悪い



最もよい行動の特徴は何か？

最も悪い行動の特徴は何か？

## 「美咲の選択」各班のベスト1

### よい言い方

写真送ることが励ましになるかなあ？電話しようよ

後でもっと時間があるときに撮ろうよ

先生に怒られたくないから放課後公園で撮ろうよ

ビジュ整えて後でゆっくり写真撮りたいな、

撮りたい気持ちも分かるけど帰ってからの方がいいんじゃない？

先生に見つかったら没収されちゃうから、放課後にしようよ！あかりも気づきやすいと思うよ！

学校はスマホ禁止だから、今日の放課後にみんなで集まろうよ

学校終わってからとったほうがみんな楽しく写真取れると思うな

また今度、電話することにしようよ

家に帰ってから撮ろうよ

学校終わってからとったほうがみんな楽しく写真取れると思うな

お家に帰って撮ろ？

学校で決められているから昼休みはやめておこう

学校はスマホ禁止だから、学校終わってからとろうよ

今じゃなくていいんじゃない？

写真撮るのは大賛成だけど、他の場所がいいんじゃない？

学校だからダメよ




スマホなんか持ってくるなよなめんな

学校の中でとらないほうがいいんじゃない？




# 【よい言い方（ベスト1）の分類と特徴】


## ● 分類①：ルール尊重・代替案の提案

- 例：「学校で決められているから昼休みはやめておこう」  
「学校はスマホ禁止だから、今日の放課後にみんなで集まろうよ」  
「学校終わってから撮ったほうがみんな楽しく写真撮れると思うな」
-  特徴：
  - 校則（ルール）をきちんと意識
  - 撮影自体は否定せず、**場所や時間の代替案**を出している
  - 対話的で、相手の気持ちに配慮した伝え方

## ● 分類③：別の手段の提案（電話・帰宅後など）

- 例：「写真送ることが励ましになるかなあ？電話しようよ」  
「また今度、電話することにしようよ」  
「お家に帰って撮る？」
-  特徴：
  - あかりへの思いやりは大切にしつつ、**別の手段**でそれを実現しようとしている
  - 発案者の春香の気持ちも全否定せず、前向きに切り替える

## ● 分類②：共感・やわらかな拒否

- 例：「撮りたい気持ちも分かるけど帰ってからの方がいいんじゃない？」  
「ビジュ整えて後でゆっくり写真撮りたいな」  
「今じゃなくていいんじゃない？」
-  特徴：
  - まず**共感**を示したうえで提案
  - 否定を直接せず、**やんわりと断る工夫**がある
  - 友情を壊さず、落ち着いた選択へ導く

## 【よい言い方全体の共通する特徴】

- **共感＋代替案**で対立を避けつつ誠実にルールを守る
- 自分の考えを持ち、**流されずに行動できる姿勢**
- 他者の感情・状況にも**配慮したコミュニケーション**

## 「美咲の選択」各班のワースト1

### 悪い言い方

みんなにスマホを自慢したい気持ち隠れてない？

先生に言うから！！！！

調子乗ってるよね！

スマホ買ってもらって調子乗ってんじゃない？

スマホ買ったからって舞い上がってない？

見つからないうちに早く撮ろうよ

そもそもなんで写真であかりを喜ばせることができると思ったの 笑

スマホ持ったからって調子乗ってんちゃうぞ

ばれないように撮ろうね

今じゃなくて良くない？

学校で撮らない方が良いでしょう。ふつーに考えて。

ばれなきゃ犯罪じゃないよ

だめ

何してんの・なにそれ

ばかか

スマホ取られても私は知らないよ

さっさと撮っちゃおう

# 【悪い言い方（ワースト1）の分類と特徴】

## ● 分類①：ルール軽視・隠蔽のすすめ

- 例：「見つからないうちに早く撮ろうよ」  
「ばれなきゃ犯罪じゃないよ」  
「ばれないように撮ろうね」  
「さっさと撮っちゃおう」
- 特徴：
  - 校則違反を正当化、モラルの低下
  - 短期的な目的（撮ること）を優先し、責任を放棄

## ● 分類③：脅し・告げ口・無責任

- 例：「先生に言うから！！！」  
「スマホ取られても私は知らないよ」
- 特徴：
  - 恐怖や脅しによって動かそうとする
  - 自分は関与しないという無責任な態度

## ● 分類②：相手否定・高圧的な言動

- 例：「調子乗ってるよね！」  
「スマホ持ったからって調子乗ってんちゃうぞ」  
「ばかか」  
「スマホなんか持ってくるなよめんな」
- 特徴：
  - 相手を馬鹿にしたり怒りをぶつけるような言い方
  - 関係性の悪化や傷つけに直結するリスクがある

## ✖【悪い言い方全体の共通する特徴】

- 相手への共感や対話が欠如
- ルールや他者の心情への配慮が不足
- 攻撃的・責任逃れの姿勢

# 美咲と春香 役割演技をしてみよう



# 役割演技をしてみよう



美咲

ねえ、ちょっと考えてみたんだけどさ。

私たちの笑顔の写真見たらあかりどう思うかな

あかりさみしがっているんだよね。余計恋しくなって、逆効果じゃない？

何か違う励まし方を考えた方がいいんじゃないかな？

春香

何？写真撮るでしょ。

ん？喜ぶに決まっているじゃない

そっか、・・・ひとりぼっちなのは私だけと思ってしまうかな

そうだね、もっといいことをみんなで考えようか

春香：（スマホを取り出しながら）「美咲、ここなら人目につかないし、今写真撮っちゃおう！ほら、笑って！」

美咲：（一瞬ためらってから）「.....ねえ、春香。やっぱり、それってちょっと待ってほしいな。」

春香：（驚いて）「えっ？なんで？あかり、すごく元気なさそうだったんだよ？はやく送ってあげたいのに。」

美咲：（勇気をふりしぼって）「うん、それは私もすごく思う。あかりを励ましたい気持ちは、私も同じ。でも...学校にスマホ持ってくるの、やっぱりルール違反だよ。」

春香：（困った顔）「でも、これは特別なことだよ？先生に見つからなきゃ大丈夫だって。」

美咲：「『見つからなきゃいい』って思うのは、ちょっと違うんじゃないかな...。私たちがルールを守らないでやったことって、あかりが知ったら本当に喜んでくれるかな？『ルール破ってまでしてくれた』って...。」

春香：（少し考えて）「.....そう、かもね。」

美咲：（やさしく）「どうしても写真を送りたいなら、放課後にまた会って撮るとか、家でやる方法、他にもあると思うんだ。私も一緒に考えるからさ。」

春香：（笑顔で）「うん、ありがと美咲。やっぱり美咲はしっかりしてるな～。放課後、一緒に撮ろう！」

# 大事にしたいことは何でしたか

## <自分の気持ち>

- ・みんなが納得できること
- ・あかりへのよりよいメッセージを送りたい
- ・言いにくいことも言わなければならない

ブレーキ

よりよい行動  
Win, win

## <春香のこと>

- ・思いや意図
- ・納得できること

友達思いのよさ  
衝動的

↓  
熟考

## <あかりのこと>

- ・心の様子
- ・写真をもらったときの気持ち

転校した子への励まし

遵法の精神、公德心  
自主・自律、自由と責任  
友情・信頼  
よりよい学校生活、集団生活の充実  
よりよく生きる喜び

## <未来・結果の予測>

- ・何も言わないと
- ・屋上で写真を撮る
- ・誰かに見つかる
- ・先生に叱られる
- ・ . . . . .

同意・同調

↓  
吟味

結果責任

## <相談>

- ・仲間
- ・教師

みんなで

# 小学校4年 「大きな絵はがき」

- この資料を基に、何を**問いたい**ですか？
- **授業の展開（導入、展開、終末）**のポイントを考えてください。
- 展開の中核となる「**問い**」を示してください。  
その問いに対して、**予想される話し合いを可視化**してください。



## 大きな絵はがき

広子が、学校から帰って、楽しみにしていた本を読み始めようとしたときでした。玄関の方から

「郵便です。料金不足お願いできますか。」

という声が聞こえてきました。広子が出て行くようにすると、ちょうどそこへ、高校の兄が帰ってきました。「百二十円になりますので、五十八円不足です。」郵便配達の人はそのように言って、兄に一枚の絵はがきを渡しました。兄は料金不足を払って受け取りました。兄は、その絵はがきを広子に渡して、

「こんな大きな絵はがきは、料金を調べて、きちんと切手を貼らなければいけないんだよ。その人は、広子の友達だろう。教えてあげた方がいいよ。」

と言いました。

絵はがきは、九月の初めに転校していった、仲良しの正子から来たもので、普通のはがきよりずっと大きい絵はがきでした。それには、紅葉のきれいな高原の中を、ひと筋の白い道が続いている景色が写されていました。宛名の下には、次のように書いてありました。

「広子さん、お元気ですか。私はこの間、蓼科（たてしな）高原に行ってきました。とてもきれいな景色でした。それで絵はがきをお送りします。来年の夏休みには、一緒に行きませんか。さよなら。」

正子は普通のはがきと同じに考えたのでしよう。左上には、六十二円の切手が貼ってありました。

広子は、正子と一緒に高原へ行ってみたいなあと思いました。さっそく返事を書こうと思いましたが、さっき兄の言ったことが気になってきました。

正子が、せつかくきれいな景色を見せたいと思って送ってくれたのに、切手が不足でしたなんて書たくなかったのです。そんなことを書いたら、正子はきつとやな気持ちになる、と思ったのです。

母に相談してみました。母は、

「お礼だけ言っておいたほうがいいかもしれないね。」  
と言ってくれました。兄が、そばで

「ちやんと言っておいた方がいいよ。」  
と言いました。

広子は迷ってしまいました。部屋に戻って、どちらにしようかと、一人で考えました。

いろいろと考えるうちに、友達として過ごしてきたこれまでのことを、懐かしく思い出しました。

（正子さんは、他の人にもこの大きな絵はがきを六十二円で送るかも知れない。）

と考えた広子は、手紙の最後に、百二十円の切手を貼らなければならぬことを書き足してあげようと思いました。

（正子さんなら、きつとわかってくれる。）

そう思うと、急に気持ちスツキリして、広子は返事を書き始めました。

新しい道徳 四年 東京書籍

# 何を「問いたい」のか

いろいろと追究するストーリーがある。

バリエーションを広げていきましょう。

**心情、考え、意味を問う発問 主として多面的な思考**  
互いの考えの違いが大切にされる「認め合い」の思考が多い

**A 【「共感的な」発問】**

**「どんな気持ちや考えだろう」**

主人公の気持ちを問う  
主人公の考えの中身を問う

○ひろ子が「やっぱり知らせよう」と思ったのは、どんな考えからでしょう。（光村）  
○ひろ子はどのように考えて正子に料金不足を伝えることにしたのでしょうか。（あかつき）

**B 【「分析的な」発問】**

**「なぜだろう、何だろう」**

行為や内容の意味を問う  
原因や理由を問う

○正子に料金不足のことを知らせるべきかどうか、ひろ子が悩んだのはどうしてでしょうか。（あかつき）  
○母と兄の意見を聞いたひろ子が迷っているのはどうしてでしょうか。（光村）  
○ひろ子はお兄ちゃんとお母さんの考えを聞いてなぜ迷ってしまったのだろうか（学研）

意図、ねらい

**主人公に自分を重ねる発問**  
**（物語的な思考）**

**「絵葉書と切手」教科書会社の問い**

**主人公などを客観的に見る発問**  
**（科学的な思考）**

方法、距離感

**【「投影的な」発問】**

**「自分ならどうするか、どう考えるか」**  
主人公に自己置換させて問う、迷いや葛藤の中で選択的に問う

○友達の間違いに気づいたときどうしていますか。（光村、日文）  
○これまでに友達だからこそ言ってあげたことや友達だからこそ言えなかったことはありますか。その時はどのような気持ちでしたか。（あかつき）  
○あなたがひろ子の立場だったらどうしますか。正子の気持ちを考えて返事を書いてみましょう。（学研）  
○ひろ子は、どのような伝え方で料金不足のことを手紙に書けばよいのでしょうか。ひろ子になったつもりで正子に手紙を書いてみましょう。（あかつき）  
○ひろ子は、どのようなことを考えながら手紙を書き始めたのでしょうか（日文）

**【「批判的な」発問】**

**「このことについてどう考えるか」**  
主人公や話に対する考えを問う、自身の考えや生き方を問う

○あなたが友達のためを思ってしたことは、どんなことがありますか。（光村）  
○ひろ子の決めたことについてどう思うかな（学研）  
○より良い友達関係をつくっていくには、どのような考え方や気持ちが大切なのでしょうか。（あかつき）  
○友達と付き合っていくとき大切にしたいことは何だろう（日文）  
○君が考えた友達を大切にすることを生活の中で生かそう（光村）

**自分自身の気持ちや考えを問う発問 主として多角的な思考**  
意見の対立やジレンマ、選択肢が強調される「磨き合い」の思考が多い

# テーマ1：葛藤を乗り越えての自己決定

## •導入

「誰かのことを思って、あえて何かをしなかったことはあるか？」

## •展開

母の意見、兄の意見、自分の気持ち...という葛藤構造を見える化しよう。

「友達なのに何で悩むのだろう？」

手紙に書くと決めた正子にインタビュー（ロールプレイ）

「どうして手紙を書くことにしたのかな？」

## •まとめ

他者を思いやる気持ちと、自分で考えて決めることの両方の大切さを実感する。

# 何に悩んでいるのか

見える化

## 母の思いや考え

料金不足の事実を伝えない

相手の絵はがきを送った  
思いを大事にしたい

お金のことで親友関係を  
壊したくない

言いにくいことは言わなくてよい

子どもはお金のことは  
言わなくてもよい

いつか自分の間違いに  
気付くはずだ

今回は特別のことだ

.....

## 兄の思いや考え

料金不足の事実を伝える

正しいことを伝えるのは義務だ

そんなことで友人関係  
が壊れない

親友だからこそ言いにくいこと  
も言うべきだ

子どもでもお金のことは  
言わなくてははいけない

同じ間違いを繰り返す  
はずだ

相手はこれからも料金不足  
送ってくるかもしれない

.....

いい友達関係  
でいてほしい

トラブルに  
なってほしくない

何が気になるのか  
乗り越えるべきことは何か

## どうして手紙を書こうとしたかな



- ずいぶん迷っていたようだけど何に悩んでいたのかな？
- 手紙を書くことにした「決めて」は何ですか？
- 正子さんが傷つくことはどう思っているの？
- 手紙を書くときに、苦心したところはどんなところですか。
- 伝えられた正子さんのどんな姿をイメージして書きましたか。

# テーマ2：友を思う心と伝える勇気

## •導入

「皆さんは、友達がちょっとしたミスをしたとき、どうしますか？」  
友達のミスを指摘する？ 指摘しない？

## •展開

広子の葛藤場面「どうするのが友達のためになるのか？」

正子の気持ち 指摘されたとき 指摘されないとき

広子の気持ち 指摘しないとき 指摘したとき

未来予想      よい予想      悪い予想

## •まとめ

「友達を思うからこそ伝える勇気も必要」という価値に気づく。  
実生活でどう活かせるかを考える。



伝える

迷う、  
決められ  
ない

伝えない

### 【1】正直に伝える派

(正しさ・再発防止を重視)

- ・「正子さんがまた同じように切手不足で送ってしまったら困るから、やさしく教えてあげた方がいい」
- ・「友達だからこそ、本当のことを言ってあげるのが大事」
- ・「知らないままだと損をすることもかもしれないから、伝えるのが親切」

### 【2】やさしく伝える工夫をする派 (思いやり・配慮を重視)

- ・「言い方をやわらかくして、『今回はちょっとだけ切手が足りなかったみたいだよ』って伝えたらいい」
- ・「“次は120円貼ったよ”って、自分のはがきを見せる形で間接的に伝えるのもあり」
- ・「“また素敵なはがき送ってね”と言って、次に注意してくれるように導く」

### 【4】誰かに相談する派 (第三者の視点を取り入れる)

- ・「先生やお母さんにどうするか聞いてから決めたい」
- ・「兄や友達に相談して、みんなだったらどうするか知りたい」

### 【3】伝えない派

(気持ちを傷つけないことを最優先)

- ・「せっかくの気持ちを台なしにしたくないから、わざわざ言わなくていい」
- ・「正子さんはきっと一生懸命選んで送ってくれたから、悪い気にさせたくない」
- ・「たった58円だし、黙っていてもいいと思う」

結果を想定し  
てみよう！

# テーマ3：ルールと友情のバランス

## •導入

「はがきのルール知っていますか、知らなかった経験はありますか？」

今のはがきの料金は？

## •展開

**焦点化 広子が“正しいこと”と“優しさ”の間で迷った上で手紙を書く場面**

「書くと決めたのはなぜか」

「どんな考えで手紙を書いたのか」

「あなたならどう手紙を書きますか？」

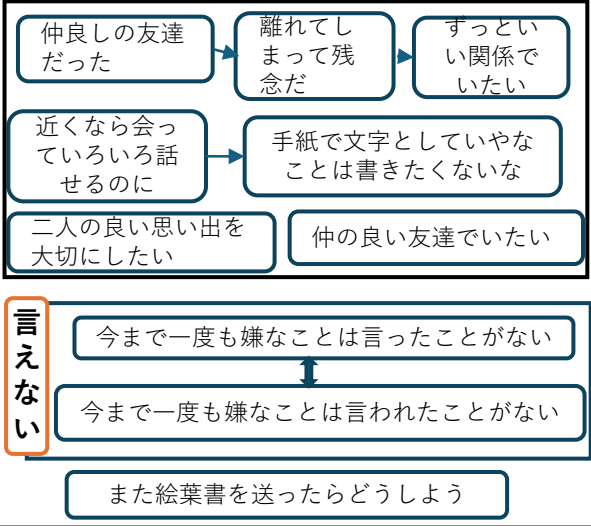
班で手紙の文案を作る活動

## •まとめ

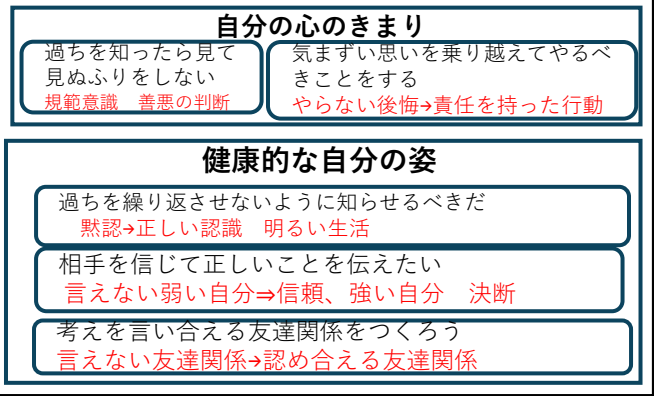
「正しさ」と「思いやり」を両立させる方法を考えることの大切さを学ぶ。

# 「絵葉書と切手」 友情・信頼

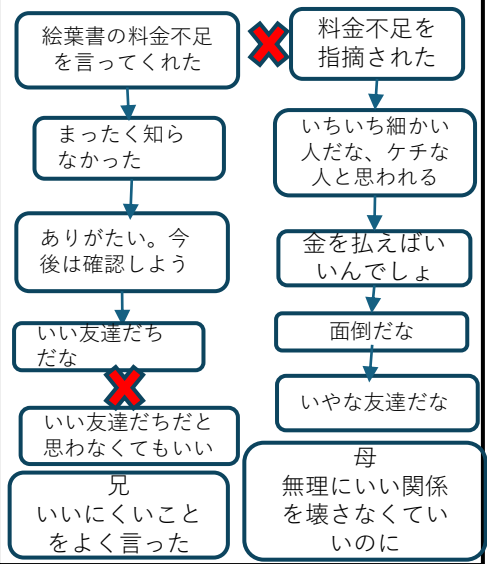
## 過去の経験 記憶と事実



## 理想的な自分の姿

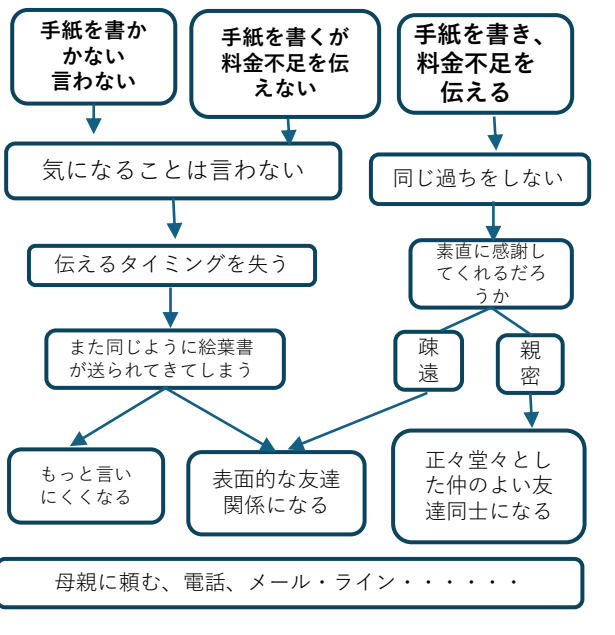


## 他者に見られる自分の姿

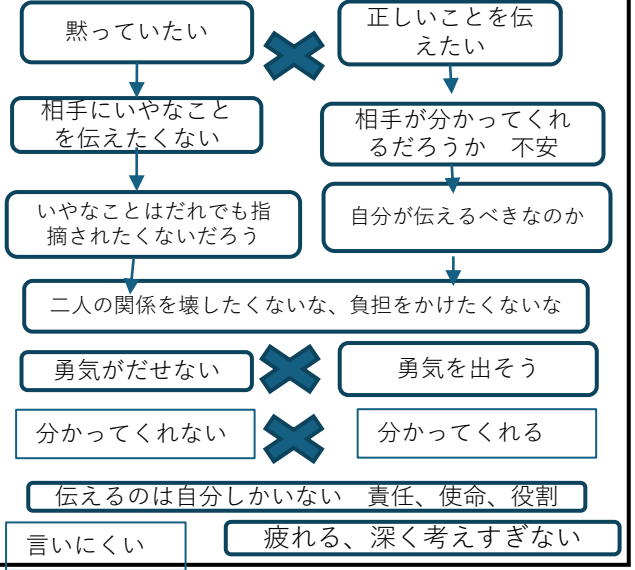


# 「手紙に書こう」

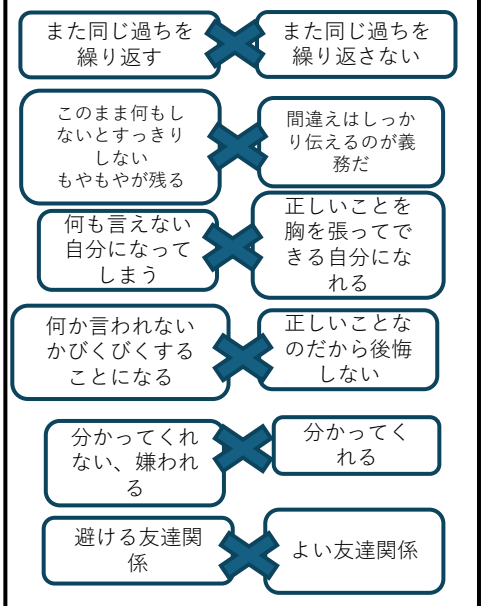
## 自分の行動の可能性



## 今の状況についての感情



## 未来の想定と予測



# テーマ4：伝え方の工夫

## •導入

「相手が気を悪くしないように伝えた経験、ありますか？」

## •展開

- 広子がどう手紙に書こうか考えた心情を読み取り、

「どんな書き方なら正子が嫌な気持ちにならないか？」を考えさせる。

実際に手紙文のモデル作成も可能。

## •まとめ

友達の心を大事にして、正しいことを相手に伝えことが大切だと気づく。

# 例1：やさしく注意を伝える手紙

正子さんへ

お手紙ありがとう。とてもきれいな高原の景色の絵はがき、うれしかったよ。今も机の上にかざって見えています。

蓼科高原、すごく良いところなんだね。私もぜひ行ってみたいよ。来年の夏、一緒に行けたらいいな。

それからひとつだけ気づいたことがあったので、伝えておくね。今回のはがきは少し大きめだったから、普通の切手ではちょっと足りなかったみたい。たぶん、120円分の切手が必要だったみたいだよ。

私も初めて知ったことだから、正子さんも知らなかったと思う。今度送るときの参考にしてくれたらうれしいな。

また手紙書くな。元気でね。

広子より

## 例2：感謝の気持ちに重点を置く手紙＋追伸

### 正子さんへ

すてきな絵はがきをありがとう。きれいな景色の写真を見て、とても気持ちが明るくなりました。

蓼科高原って本当にすてきな場所なんだね。いつか一緒に行けたらいいなと、想像しながら読んでいたよ。

新しい学校にも、少しずつ慣れてきたかな？私は元気になっているよ。秋になって、少しずつ涼しくなってきたね。体に気をつけてね。

またお手紙待ってます。

広子より

※連絡です。大きな絵はがきの料金は百二十円だそうです。びっくりです。私も初めて知りました。

## 例3：ユーモアを交えてさりげなく伝える

### 正子さんへ

絵はがきありがとうございます！あの写真、ほんとうにすばらしくて、思わず「行きた〜い！」って声に出してしまったよ（笑）

紅葉の赤や黄色が、まるで夢の中の景色みたいだったね。蓼科高原、いつか一緒に行けたらいいな。

そうそう、郵便やさんが「ちょっと大きいので切手もう少しいるんですよ〜」ってにこにこして届けてくれたよ。調べてみたら、あのサイズだと120円が必要なんだって！私も初めて知ったよ。郵便の料金の仕組み学ぶことができました。

またお手紙楽しみにしてるよ！

広子より

# テーマ5：本当の友情とは

## •導入

- 「本当の友達って、どんな関係だと思うか」  
よい友達 ⇔ 悪い友達 対比

## •展開

「正子のためになることって何か？」を話し合う

## •まとめ

「言いにくいことでも伝え合える関係が、本当の友情なのかもしれない」



# 正子のためになることは何か

## ミスに気づかせる（事実を伝えることで本人の学びになる）

- ・ 「次から同じ失敗をしないように、ちゃんと教えてあげた方がいいと思う」
- ・ 「正しい知識を知ることが、正子のためになる」
- ・ 「料金不足で届かなくなることもあるから、今のうちに知ってもらおうべき」
- ・ 🖐️ 主に「成長・学び・責任感」などを重視

## 関係を大切に継続すること（友情の継続）

- ・ 「返事を出すこと自体が正子のため」
- ・ 「これからも手紙を送りあえる関係でいることが大事」
- ・ 「やさしい気持ちで受け取って、ありがとうって伝えるだけでもいい」
- ・ 🖐️ 「相手の存在を大切にすること・友情を育てる」

## 伝えないでおく（気持ちを大切にしたい）

- ・ 「正子がせっかくの気持ちで送ってくれたのに、それを台無しにしたくない」
- ・ 「知らなくても別に困らないし、わざわざ言わなくていい」
- ・ 「友達の気持ちを守ることが、一番大事だと思う」
- ・ 🖐️ 「感謝の気持ち・友達の心を大切にする」優先

## やさしく伝える（伝え方に工夫して、気持ちを傷つけない）

- ・ 「正子の気持ちを考えると、ストレートには言わない方がいい」
- ・ 「“今度からこれくらいの切手が必要らしいよ〜”ってやんわり伝えればいい」
- ・ 「がっかりさせないように、やさしい言葉で教えるのが本当の思いやり」
- ・ 🖐️ 「人間関係・感情のケア・言葉の選び方」を重

## 別の方法で伝える（間接的に知らせる）

- ・ 「電話で話すついでにさりげなく言う」
- ・ 「自分が送るときに“切手は120円にしたよ”って書いて気づかせる」
- ・ 「郵便ルールのことを面白く話して“豆知識”みたいにする」
- ・ 🖐️ 「気づかせること」と「関係をこわさないこと」を両立したい

「広子さん、なんで“伝えよう”って思ったの？」

「正子がまたほかの人にも同じはがきを送ったら、届かないかもしれないと思ったから」

「困ってほしくないから」

「本当の友達だったら、大事なことはちゃんと言うべきだと思った」

「でも、伝えたら正子が傷つくかもしれない...そのことはどう思ってるの？」

「そこがすごく迷ったところ。でも正子なら、きっとわかってくれると思う」

「少しだけ、いやな気持ちになるかもしれないけど、ずっと言わないよりはいいかな」

「うーん...それでも、やさしい言い方なら大丈夫って信じたい！」

「伝えるときに、気をつけたいことってある？」

「“失敗だったよ”って言わないで、“今度はこうした方がいいかも！”って言い方にする」

「はがきをすごくうれしかったって先にちゃんと伝える」

「“私も知らなかったよ”って書けば、正子も安心するかなって思った」

「返事を書いている今、どんな気持ち？」

「ちょっとドキドキしてるけど、言えてよかったって思う」

「やさしく伝えられたと思うし、きっと正子も大丈夫だよね！」

「すっきりした！もやもやがなくなった！」



手紙を書いた夏休みに二人は  
会うことができました。



【シーン：公園のベンチ】（広子が先に座っている。そこへ正子がやってくる）

正子：

「広子ー！ひさしぶり！元気だった？」

正子：

「うん、元気だったよ！……そうだ、こないだの手紙、読んだよ。絵はがきのこと、教えてくれてありがとう。」

正子：

「最初ちょっとドキッとしたけど、広子の書き方がやさしかったから、全然いやな気持ちにならなかったよ。」

正子：

「ありがとう。今度はちゃんと120円の切手にするね。教えてくれて助かったよ。」

正子：

「うん。じゃあ、今度は一緒に高原行こうね！」

広子：

「正子！来てくれてうれしいよ。元気だった？」

広子：

「ううん……言おうか迷ったんだけど、また同じように送って届かなくなったらって思って...。」

広子：

「ほんとに？よかった…。正子がせっかく送ってくれたはがき、すごくきれいだったし、うれしかったから。」

広子：

「えへへ、私も初めて知ったんだよ。友達って、こうやっておしえあえるの、いいね。」

広子：

「うん、ぜったい行こうね！」

# テーマ6：問題解決・自己決定

- 導入 友達に嫌なことを伝えた経験があるか」

- 展開

**「このような正子の状況のとき、あなたならどう行動しますか。」**

補助「友達としてよいのはどれですか」

補助「わかっているけどできないのはどうしてですか」

- 終末

「あなたが大事にしたいことはどんなことですか」

# どのような行動が考えられるのか

## ① 電話やSNSなどで直接やさしく伝える

- 内容：電話やSNS、メッセージアプリなどを使って、気軽に「今度送るときは120円だと届きやすいかも」と軽く伝える。
- 特徴：書き言葉よりやわらかく伝えやすく、誤解も少ない。タイムリーに伝えられる。

## ② 先生に相談する

- 内容：担任の先生など信頼できる大人に「どう伝えたらいいか」を相談し、アドバイスをもらう。
- 特徴：第三者の視点を入れることで、より良い判断ができる。実際の子どもに多い行動。

## ③ 正子に直接会ったときに伝える（次の再会のときなど）

- 内容：次に会う機会（例：夏休みなど）を待って、そのときにさりげなく話す。
- 特徴：顔を見て話せるので誤解が起きにくく、関係も深まりやすい。

## ④ 今回は何も言わず、次に自分が送るときに注意をうながす

- 内容：今回はあえて何も伝えず、自分が出すはがきに「大きいはがきだから120円切手を貼ったよ！」など一言添えて間接的に知らせる。
- 特徴：相手の気持ちに配慮しつつ、気づきをうながす方法。

# どんな対応があるのだろうか

相談する  
親、友達、  
SNSの友達、AI

手紙を書く

手紙は出さない

○相手の反応を考えたくないので何もしない **拒否、拒絶**

料金不足を伝える

料金不足を伝えない

もう何も考えない

○どうしてよいかわからない  
○何も考えたくない  
**逃避、避ける**

○手紙・はがき  
○絵葉書のお礼  
○近況を知らせる  
○追伸で**料金不足の事実**を書く

○定形外の絵葉書に正しい切手を貼って出す  
○絵葉書のお礼  
○近況を知らせる  
○追伸で**料金不足の事実**を書く

○手紙・はがき  
○絵葉書のお礼と近況のみ知らせる

○定形外の絵葉書に通常料金で出す  
○絵葉書のお礼と近況のみ知らせる

○定形外の絵葉書に正しい切手を貼って出す  
○絵葉書のお礼と近況のみ知らせる

相手に気づいてもらおう

悩んでいる状況を母親から相手の母親に伝えてもらう 電話、手紙、メール (間接の対応)

会ったときに言う

メール・ラインで書く

○さりげなくマークを使って伝える (**w**) / **注意**でーす

電話で伝える (ZOOM)

○自然な会話の中でさりげなく伝える  
○実物に触れながら 気づいたように

○手紙・はがき  
○絵葉書のお礼  
○**料金不足**を書く  
○近況を知らせる

○定形外の絵葉書に正しい切手を貼って出す  
○絵葉書のお礼  
○**料金不足の事実**を書く  
○近況を知らせる

○手紙・はがき  
○**料金不足**を書く  
○お礼と近況を知らせる

○定形外の絵葉書に正しい切手を貼って出す  
○**料金不足の事実**を書く  
○お礼と近況を知らせる

※料金不足の記述  
○今後の防止のため自分の判断で書く  
○兄から言われたことにする  
○母と相談した結果から書いた  
○不足金の要求?

おーい



切手たらん  
かったぞー

勉強に  
なります！



ありがとう



すまん！  
かたじけない



# 道徳科の目指す方向をつかむ

<何を目指すのか>

開かれた特色ある教育課程の編制・実施・評価

<子どもの鍛え>

子どもの

考える力

議論する力

オープンマインド

自分の目指す

「考える、議論する道徳授業」

<どのように学ぶのか>

- 価値項目の内容理解
- 子どもの実態
- 教材分析
- 指導者の思い
- 活動構想

授業実践

授業改善

<教師の鍛え・意識改革>

教師の

考える力

議論する力

オープンマインド

子どもの学ぶ姿 評価

<何ができるようになったか>

# おわりに

- いろいろなストーリーがある。  
前向きに道徳授業にチャレンジ！
- とことん考える交流の場をつくる！
- 子どもを信じて任せてみる！
- 子どもの心に火をともし！